

平成 13 年 8 月 30 日

各 位

会 社 名 日立電線株式会社
代 表 者 取締役社長 原 精二
(コード番号 5812 東証・大証 1 部)
問 合 せ 先 人事総務本部総務部長
鈴村 慎一郎
(TEL. 03-5252-3261)
当社の親会社 株式会社日立製作所
代 表 者 取締役社長 庄山 悦彦

平成 13 年 9 月中間期業績予想の修正について

平成 13 年 9 月中間期 (平成 13 年 4 月 1 日 ~ 平成 13 年 9 月 30 日) の連結ならびに
単独業績の予想について、平成 13 年 4 月 26 日の決算発表時に公表いたしました業績予
想を、下記のとおり修正いたしますのでお知らせいたします。

記

1. 連結業績予想の修正 (平成 13 年 4 月 1 日 ~ 平成 13 年 9 月 30 日)

	単位	売上高	経常利益	当期利益
前回発表予想(A)	百万円	200,000	10,500	5,000
今回修正予想(B)	百万円	177,000	1,000	500
増減額(B) - (A)	百万円	23,000	9,500	4,500
増 減 率	%	12	90	90
(ご参考)前期実績 平成 13 年 3 月期	百万円	410,394	25,604	8,443
平成 12 年 9 月中間期	百万円	193,322	11,838	3,563

2. 単独業績予想の修正 (平成 13 年 4 月 1 日 ~ 平成 13 年 9 月 30 日)

	単位	売上高	経常利益	当期利益
前回発表予想(A)	百万円	165,000	8,000	3,700
今回修正予想(B)	百万円	143,000	1,000	900
増減額(B) - (A)	百万円	22,000	7,000	2,800
増 減 率	%	13	88	76
(ご参考)前期実績 平成 13 年 3 月期	百万円	330,426	19,385	7,110
平成 12 年 9 月中間期	百万円	156,000	9,239	3,455

3. 業績予想修正の理由等

携帯電話やパソコン等に使用される情報・エレクトロニクス分野製品が予想以上に落ち込んでいる他、北米光通信業界の設備投資意欲の減退に伴い、光コンポーネントの需要も大幅に減少しております。この結果、当中間期の業績は、連結・単独とも当初の予想を下回ることが避けられない見通しとなりました。

なお、通期(平成13年4月1日～平成14年3月31日)の業績予想につきましては、携帯電話やパソコンおよび光通信機器等の需要の先行きが不透明であり、現時点では予想が難しいため、中間決算発表時に見直しを行う予定です。

また、当期の中間配当につきましては、当初予想どおり1株につき5円の配当を実施することを予定しております。

以上

(注記)

前述の業績見通し等に記載されている各数値は、実績数値を除き当社の経営者が現時点で判断する一定の前提および仮定に基づき計算しており、実際の業績等は見通しの数値と異なることがあります。その要因のうち主なものは、次のとおりです。

- ・ 主要市場 (特に日本、米国、アジア)における経済状況
- ・ 急激な技術変化 (特にエレクトロニクス)
- ・ 新製品・新技術の開発、タイムリーな市場投入、低コスト生産を実現する当社及び子会社の能力
- ・ 製品市場、製品市況の変動 (特にエレクトロニクス)
- ・ 為替相場変動
- ・ 資金調達環境
- ・ 製品需給、製品市況及び為替相場等の変動に対する当社及び子会社の能力
- ・ 自社特許の保護及び他社特許の利用の確保
- ・ 製品開発等における他社との提携関係
- ・ 日本の株式相場変動